

令和3年度事業計画書

事業運営方針

定款に示されている工学に関する教育および研究の振興、山口大学工学部への支援および連携、会員相互の交流および相互啓発をはかることを基本方針として各種事業を行っていく。令和3年度の計画概要を以下に記す。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため既に一部中止となったものもあり、今後に変更がありうる。また、対面での活動が困難な事態に備えてオンライン活動を取り入れながら新たなスタイルを模索する。

I. 事業活動

I-1 工学に関する教育研究の振興ならびにこれらに関する人材育成に資する事業（公益事業）

1. 講演会・講習会等の開催

(1) 常盤アドバンスドレクチャー in Tokyo「未来を切り開く技術開発」

第2回講座を以下のとおり、常盤工業会主催、山口大学工学部共催で開催する。運営は、実行委員会（委員長：柿本雅明、工化50）および関東常盤会が行う。

受講対象 山口大学工学部卒業生、学生

開催日 令和3年10月（土曜） 14:00～16:30 予定

開催方法 都内の小規模会議室等からオンライン配信

講演者 講座Ⅰ 大学からの講師

講座Ⅱ 常盤工業会会員もしくは会員関係者

(2) 第4回工学部ホームカミングデー「卒業生講演会」

山口大学工学部主催、常盤工業会共催で以下のとおり開催する。

受講対象 山口大学工学部卒業生、学生

開催日 令和3年11月中旬 予定

会場 山口大学工学部

講演概要 未定

2. 講演会・講習会等開催に対する支援

「ちじょうIT勉強会」の支援

「ちじょうIT勉強会」の運営委員会（リーダー：清水亜麻依、知情H27）が実施する勉強会に係る経費を助成する。勉強会の概要は以下のとおり。

受講対象 山口大学学生

開催日 令和3年6月・10月

会場（開催方法） 山口大学工学部またはオンラインまたはハイブリッド開催

概要 初心者向けIT系勉強会（セミナー・ワークショップ等）

3. 山口大学工学部の支援および連携事業

(1) 山口大学工学部への寄付

「常盤工業会奨学金」等の原資として寄付を行う。

(2) 山口大学工学部との連携事業

第4回工学部ホームカミングデー行事に共催で取り組み、経費の一部を負担する。（令和3年度は令和3年11月中旬開催予定。）

4. 工学部学生支援事業

(1) 「常盤賞」表彰

学部および博士前期課程学生の学業優秀者、課外活動優秀者を表彰し、記念品を贈呈する。表彰対象は常盤工業会正会員とし、選考は工学部が行う。

(2) 学生が企画するプロジェクト活動の支援

支援申請期限を6月中旬とし、7月中旬にプロジェクト代表者との面談を行い、採択された団体に活動費の支援を行う。

(3) 「常盤祭」支援

常盤祭実行委員会に対し、実施経費の一部を支援する。

(4) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援

工学部教育後援会・山口大学生協・常盤工業会で経費を分担して支援する。

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している学生の経済支援

(工学部と協議の上、検討する。)

I-2 会員交流親睦および相互啓発に資する事業（共益事業）

1. 会誌刊行事業

会誌「常盤」冊子版、WEB版を年2回（7月・12月）発行する（12月発行冊子版は正会員に配布）。企画・編集は、会誌「常盤」編集委員会が行う。

2. 学術文化交流振興事業

(1) 地域の留学生と日本人との交流

学部近郊の留学生を対象に留学生スピーチ大会、第33回留学生交流会を常盤工業会主催で実施する。また、「学部留学生交流会」主催行事については共催で実施する。

(2) 対外支援

① 「学部留学生交流会」の支援

事業費の一部を助成する。また「学部留学生交流会」の運営事務を常盤工業会事務局で行う。

② 「山口大学同窓会」の支援

理事会への出席、事業に対する協力、分担金の支出、他学部同窓会との交流を行う。

③ 「学部環境国際協力協会」の支援

法人会員として会費を支払う。

3. 会員交流事業

(1) 地域同窓会交流事業

① 情報共有（地域同窓会と本部）

本部と地域同窓会で会員情報の共有化を図る。

② 地域同窓会代表者会議の開催

工学部ホームカミングデー開催日と同日に開催し、地域同窓会相互、地域同窓会と本部役員との情報交換を行う。また、会議後の懇親会には学生や母校教員を招待し、地域の会員との情報交換や交流を行う。

③ 各地域同窓会の活動に対する支援

地域同窓会に対し、総会開催のための通信費、交流費等の資金支援、総会案内に使用する宛名ラベルの無料提供等を行なう。

④交流活動（地域同窓会と本部、工学部）

各地域同窓会総会に本部役員が参加し、本部と地域の情報交換を行う。また大学教員へ出席依頼をし、地域同窓会と母校との情報交換を行う。教員に対しては卒業生に地域同窓会出席の働きかけをしていただくことで、若い世代の卒業生の地域同窓会への関心を高める。

(2) 工学部ホームカミングデー

卒業生に案内を行い、学生や教職員との交流を促進する。

(3) 学生との交流

①入学時

入学式後の保護者会に会長が出席して常盤工業会の紹介を行い、常盤工業会紹介リーフレット、会誌を配布する。

②2年次学科別オリエンテーション

常盤工業会会館の紹介として「会館のしおり」を配布する。

③卒業時

会長祝辞文および記念品を贈呈（学部卒業生のみ）する。また、住所連絡用はがき、事務局からのお願い文、リーフレット（地域同窓会紹介）、その他案内文等を配布する。

④総会および地域同窓会代表者会議時懇親会

懇親会に学生を招待し、卒業生と学生の交流をはかる。

4. 常盤工業会会館の有効活用および維持管理（共益事業・収益事業）

(1) 会館の有効活用

常盤工業会の活動拠点として事務局を置いている常盤工業会会館を有効活用する。（収益事業としては施設賃貸およびテナント関連）

(2) 会館施設の維持管理

西側駐車場境界塀改修工事（補強）を行う。その他、会館老朽化にともなう修繕については必要に応じて行う。

II. 法人管理運営部門

1. 一般社団法人移行後の行政庁への対応

公益目的支出計画が終了となる令和2年度終了後3ヵ月以内に山口県に公益目的支出計画実施報告書の提出（電子申請）を行なう。実施報告申請完了後に公益目的支出計画完了届出を行い、公益目的支出計画の完了手続きを行う。

2. 会員増強対策（住所把握・会費納入促進）の推進

①会誌、ホームページの活用

②新卒者に対し、学生時のメールアドレス有効期間内に常盤工業会に住所連絡をしてもらうようお願いのメールを工学部より送っていただく。

3. オンラインで活動、より充実した情報発信を行うための整備

- ・テレビ会議が行えるよう備品等の整備
- ・WEB会議ツールライセンス契約
- ・ホームページのリニューアル 等

令和3年度収支予算

収支予算書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで (単位 円)

科 目	A R3年度予算	B 前年度(R2年 度) 予算額	増減(A-B)
I 事業活動収支の部			
(1) 事業活動収入			
会費収入			
正会費収入	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
終身会費収入	44,000,000	38,000,000	6,000,000
(会費収入 小計)	48,000,000	43,000,000	5,000,000
会館施設貸付事業収入			
テナント家賃収入	5,622,960	5,652,000	△ 29,040
施設賃貸料収入	1,000,000	2,026,000	△ 1,026,000
雑収入	12,000	12,000	0
(会館施設貸付事業収入 小計)	6,634,960	7,690,000	△ 1,055,040
雑収入			
受取利息収入	5,000	10,000	△ 5,000
雑収入	10,040	200,000	△ 189,960
(雑収入 小計)	15,040	210,000	△ 194,960
事業活動収入 合計	54,650,000	50,900,000	3,750,000
(2) 事業活動支出			
① 事業費支出			
1 工学教育・人材育成事業(公益)			
講演会・講習会			
会場費	170,000	70,000	100,000
支払手数料	50,000	30,000	20,000
旅費交通費	150,000	60,000	90,000
助成費	200,000	220,000	△ 20,000
雑費	30,000	80,000	△ 50,000
大学支援・連携事業			
寄付金支出	10,000,000	13,700,000	△ 3,700,000
負担金支出	150,000	150,000	0
学生支援事業			
表彰費	280,000	280,000	0
助成費	600,000	600,000	0
負担金支出	1,000,000	1,000,000	0
支援金支出	5,000,000	0	5,000,000
(工学教育研究・人材育成 小計)	17,630,000	16,190,000	1,440,000
2 会館施設貸付事業(収益)			
衛生費	289,000	289,000	0
修繕費	300,000	300,000	0
水道光熱費	90,000	90,000	0
租税公課	71,000	71,000	0
雑費	220,000	70,000	150,000
(会館施設貸付事業費 小計)	970,000	820,000	150,000
3 交流事業(共益)			
(会誌刊行事業)			
印刷費	2,000,000	2,400,000	△ 400,000
通信費	2,500,000	3,400,000	△ 900,000
消耗品費	230,000	230,000	0
委託業務費	600,000	320,000	280,000
雑費	50,000	50,000	0
(学術文化交流振興事業)			
会議費	280,000	280,000	0
助成費	300,000	300,000	0
負担金支出	500,000	500,000	0
雑費	10,000	10,000	0
(地域同窓会交流事業)			
通信費	1,300,000	1,300,000	0
会議費	130,000	130,000	0
旅費交通費	2,000,000	2,000,000	0
負担金支出	350,000	350,000	0

科 目	A R3年度予算	B 前年度(R2年 度) 予算額	増減(A-B)
(会員交流事業)			
印刷費	200,000	230,000	△ 30,000
通信費	250,000	250,000	0
記念品費	600,000	600,000	0
会議費	40,000	40,000	0
(交流事業 小計)	11,340,000	12,390,000	△ 1,050,000
4 共通経費			
通信費	142,800	130,000	12,800
機器使用料	21,924	81,700	△ 59,776
支払手数料	117,600	160,000	△ 42,400
給与・手当	7,560,000	7,728,000	△ 168,000
福利厚生費	1,260,000	1,319,000	△ 59,000
租税公課	1,462,500	1,462,500	0
委託業務費	975,000	975,000	0
修繕費	682,500	682,500	0
損害保険料	192,900	165,800	27,100
衛生管理費	97,500	97,500	0
消耗品費	504,000	302,000	202,000
電灯電力費	780,000	780,000	0
水道光熱費	156,000	156,000	0
(共通経費 小計)	13,952,724	14,040,000	△ 87,276
(事業費支出 合計)	43,892,724	43,440,000	452,724
②管理費支出			
通信費	207,200	220,000	△ 12,800
機器使用料	4,176	15,500	△ 11,324
支払手数料	282,400	210,000	72,400
給与・手当	1,440,000	1,472,000	△ 32,000
福利厚生費	240,000	251,000	△ 11,000
印刷費	240,000	240,000	0
会議費	200,000	200,000	0
旅費交通費	1,300,000	1,300,000	0
租税公課	37,500	37,500	0
委託業務費	25,000	25,000	0
修繕費	17,500	17,500	0
損害保険料	5,000	4,200	800
衛生管理費	2,500	2,500	0
消耗品費	96,000	48,000	48,000
電灯電力費	20,000	20,000	0
水道光熱費	4,000	4,000	0
雑費	1,250,000	250,000	1,000,000
(管理費支出 計)	5,371,276	4,317,200	1,054,076
経常費用 合計	49,264,000	47,757,200	1,506,800
当期経常収支差額	5,386,000	3,142,800	2,243,200
II 投資及び財務収支の部			
1 投資及び財務活動収入			
① 減価償却引当預金取崩収入	0	0	0
投資及び財務活動収入 合計	0	0	0
2 投資及び財務活動支出			
① 固定資産取得支出	0	0	0
② 減価償却引当預金取得支出	2,184,712	2,388,141	△ 203,429
投資及び財務活動支出 合計	2,184,712	2,388,141	△ 203,429
投資及び財務活動収支差額	△ 2,184,712	△ 2,388,141	203,429
III 予備費支出	1,500,000	1,500,000	0
収支差額 合計	1,701,288	△ 745,341	2,446,629
当期収支差額	1,701,288	△ 745,341	2,446,629
前期繰越収支差額	77,901,521	78,646,862	△ 745,341
次期繰越収支差額	79,602,809	77,901,521	1,701,288